

第2会場●4F 視聴覚室

Lifelong Learning

■司 会／原 元宏 島根県掛合町教育委員会 地域教育コーディネーター
田原 智子 広島市立口田東小学校 教諭

1 モデル高校が取り組む生涯学習プログラムの創造 13:30～13:55

－大分南高校の地域教育力向上連携推進事業－

工藤典比古（大分市） 大分県立大分南高等学校 前PTA会長

大分南高校は地域教育力向上連携推進事業のモデル校。幼稚園から高校まで地域の教育機関PTAを縦断的に組織化して、家庭教育支援、地域交流、世代間交流を目的に、料理講習、理科実験教室、子育て講座、公開授業等を展開した。単位PTAや地域自治会との連携が促進できたが、定着のためには今後の継続が課題である。

2 農業体験活動は地域と学校の何を変えたのか？ 13:55～14:20

－教科横断型指導を実現する白木小学社融合推進事業－

園田 豊美（福岡県立花町） 立花町立白木小学校 教諭

田中千賀子 夢あいグループ代表

学社融合の理念に基づき、学校活動に農業体験活動を導入し、子どもに本物体験を提供する。活動の実践を通して、PTA、JA、食の提供を行う「夢あいグループ」、老人会など多様な組織からの学校支援を実現した。中核の行事は「白木の秋の収穫祭」。学校支援の「縁」が地域コミュニティの活力を生み出すような学校づくりが成果であり、目標である。

ティータイム 14:20～14:55

3 小学校の「おやじ会」が創る「のびのびチビリンピック」 14:55～15:20

－地域の教育力を支える父親の子育て支援事業－

川尻 修治（長崎県田平町） 田平町立南小学校 南小おやじ会 部長

小学校保護者が企画・運営する「チビリンピック」。学校周辺を活用したウォークラリー大会の愛称。保護者の交流、児童の遊び型運動の創造が目標。問題を解きながらチェックポイントを通過、チームワークあり、競争あり、おやじ会が腕によりをかけたご馳走もある。保護者の参加意識も高まっているので地域参加型の行事に育てることが今後の課題である。

4 クリーン作戦から“つくつくフェスティバル2003”まで 15:20～15:45

－学校、家庭、地域をむすぶPTA活動－

中津留正士（大分県津久見市） 津久見市立津久見小学校 PTA会長

地域教育力の向上とPTA活動の活性化を目指して複数の事業を組み合わせ実施した。校区クリーン作戦、“つくつくフェスティバル”、くすの木サークルなどを通して異なった学校のPTAや地域集団との連携／交流ができてきた。

5 総括討論 15:45～16:15